

# 国際連携・社会受容性 平成28年度活動まとめ

---

平成29年3月28日

第28回 SIP自動走行システム推進委員会



# 国際連携WG 2016 活動のまとめ

## 成果の発信と国際的議論への参画



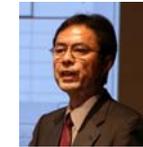
第3回SIP-adus Workshopの開催



Dynamic Map



Connected Vehicles



Human Factors



Impact Assessment



Next Generation Transport



Security

国際連携の重点6テーマと窓口の方々

## 自動走行システムの社会受容性の醸成

- マスメディアを通じた情報発信
- 市民ダイアローグのシリーズ開催(3回)とインターネットを通じた発信(双方向コミュニケーションへの展開)



市民ダイアローグ

## 大規模実証実験への海外企業・団体の参加促進

- 国際的に開かれた研究開発環境としての国際連携拠点化

# 国際的議論への参画

国際連携の重点6テーマについて、自動走行に関する3極会議<sup>\*)</sup>を核に国内外の会議に積極参加し、SIP自動走行システムの成果に基づき議論を牽引した。

<sup>\*)</sup> EU-US-Japan Trilateral Working Group on Automated Road Transport

## 活動実績

- 第3回SIP-adus Workshopを開催。参加者数425名(海外50名)登壇者数61名(海外34名)。大規模実証実験の概要を国内外同時に公表。
- 欧州では、Transport Research Arena(4月)、Grand Cooperative Driving Challenge(5月)、European ITS Congress(6月)に参加し議論。
- 米国では、Transportation Research Board(1月)、ITS America Annual Meeting(6月)、Automated Vehicle Symposium(7月)に参加し議論。
- 駐日欧州連合代表部、欧州自動車工業会、日本自動車輸入組合と継続的に交流。

## 主な成果

- 国際標準化(自動車技術会と連携)
  - ISO TC204 WG3において、SIP-adusの成果に基づくDynamic Mapの標準化作業が進展。
  - Human Factorsに関して、ISO TC22との連携活動に着手。
- 3極の共通課題に関する認識の共有と共同文書の作成
  - Impact Assessmentの効果評価枠組み。
  - Human Factorsの研究課題に関する論点整理。
- SIP-adusの研究開発成果に裏付けられたテーマごとの方向性議論の牽引。
  - Connected Vehiclesにおける、協調型システムの自動走行システムとの融合。
  - Securityにおける、車両制御と接続環境のセキュリティー上の階層的モデル化。
  - Impact Assessmentにおける、安全、CO2排出削減、社会・経済効果シミュレーション。



# 社会受容性の醸成の進め方

## 研究開発計画が目指すもの

1. システムの技術や効果についての理解活動を展開する。
2. 自動走行システムがもたらす効用と潜在リスクのオープンな議論の材料を提供する。

## 平成26年度および平成27年度の活動

- マスメディアを通じて多くの方々に情報提供することを目的に、「メディアミーティング」と題して日本ITS推進フォーラムを含めて合計7回開催。
- 直接一般市民に語り掛ける場として科学技術振興機構主催の「サイエンスアゴラ」においてシンポジウムを実施。

## 平成28年度の活動

- SIP-adusにおける研究開発内容や専門知識を一般市民に伝えるというアプローチのみならず、市民の期待や懸念を率直に表現していただき、SIP-adusの活動に反映することも行う双方向のコミュニケーションの場として「市民ダイアログ」を3回開催。
- 漠然と市民一般を対象とするよりも、ディスカッションのスキルのある学生や、運輸事業関係者、法曹界関係者に絞った運営が功を奏し、活発かつ示唆の多い議論となった。

## 平成29年度以降の活動

- 平成28年度と同様に、「市民ダイアログ」を多彩なテーマを追加して継続し知見を蓄積する。
- その成果を一般市民に波及させるために、大規模実証実験と連携し、露出度の高い東京モーターショーなどと連動したイベントを開催する。
- さらに、自動走行システムがもたらす効用と潜在リスクを定量的に提示し、市民による社会受容性の本格的議論につなげる。